

7月5日神戸新聞朝刊に3年生藤本選手の記事が掲載され、6日から始まる甲子園に向けた兵庫県予選の盛り上がりを感じるようになりました。天気が心配ではありますが、本校初戦は12日高砂球場です。良い緊張感をもって普段通りの力を発揮してほしいと思います。



また、7月8日から始まる体育科1年生の海洋実習に向けた結団式が7月5日期末考査終了後体育館で行われ、私と水野学年主任が挨拶をしました。緊張感あふれる実習となると思いますが、時間を守り、お互いを思いやり、安全に実習を行い、自信をつけて帰ってきてほしいです。7月8日朝、無事出発しました。10日までの2泊3日の実習です。



7月6日は近畿地区高等学校PTA 連合会大会和歌山大会に本校PTA 副会長の阪脇様、小原様と一緒に参加してきました。和歌山県立紀北農芸高等学校和太鼓部の歓迎アトラクション(1)に始まり、開会行事(2)の後、集団行動で有名な日本体育大学名誉教授の清原伸彦氏が「清原流 人を創る～やれば誰でもできる～」というテーマで講演をされました(3)。清原氏は高校まで運動部経験がない状態で高校の体育教師から日本体育大学を勧められ、大学からたまたま寮で同室だったバスケット部員の影響でバスケットをはじめられたそうです。今なら問題になりそうな「使い走り」をよくさせられたけど授業はしっかりと聞いていたので教授から認められそのまま大学に残り、指導者としても経験のない水球を指導され、21年間負けなし、さらにはオリンピック代表監督を務められるなどの実績を残されました。集団行動も最近注目を集めていますが、話の中心は「心」を教えるということでした。「身長180cmの男子学生と身長150cmの女子学生が集団行動で一緒に歩かなければならない。男子学生は歩幅95cmなら集中して歩くが80cmならほかのことを考える、女子学生は歩幅80cmなら集中して歩ける、女子の歩幅を95cmにするのに股関節を柔らかくする、最初は女子は走っているがそのうち歩けるようになる、必ずできるようになることを伝えている」といった集団行動の指導から次のことが大切だという話で締めくくられました。①丈夫な体を作る②感受性を高める③献身的な心を持つ④笑顔が大切で、時間はかかるが子供の可能性を信じるのが一番大切だといわれました。集団行動のビデオ(4)も流されましたが、「指揮者がいなくても集団で動くイワシの群れをイメージして、指揮者なしの集団行動にチャレンジしてみた結果、素晴らしいものができた。ソチオリンピックで外国の方に集団行動を指導した経験からやればできることを改めて感じた。」など経験に基づく貴重な話を聞くことができました。昼食中には和歌山県立紀央館高校の書道部がパフォーマンス(5)を披露してくれ会場を和ませてくれました。その後パネルディスカッションで大会は終了しましたが、心を通じ合わせることにあつた話を伺うことができました。



7月8日は球技大会が行われました。男子が野球場とサッカー場でキックベース、女子はバスケットとドッジボールの種目で競いました。非常に暑い中ではありましたが、全校生の準備体操(6)の後、各種目に分かれて熱戦が繰り広げられたようです。各種目の結果については以下の表をご覧ください。生徒会を中心とした活動に全員が協力でき楽しめたようでした。お疲れ様でした。



期末考査も終了し、終業式の間までは緊張も少し和らぎそうです。生徒の皆さんは、夏季休業を迎えるにあたって、時間を有効に使えるように、部活動での目標と学習面での目標をしっかり持ち充実した生活を送ってください。同時にこれから暑くなってくると熱中症対策も必要となります。水分補給はもちろん、体調管理にも十分に気を使って健康に過ごせるようにしてほしいと思います。

球技大会結果

種目(学年)	キックベース(1)	キックベース(2)	キックベース(3)	バスケット(1)	バスケット(2)	バスケット(3)	ドッジボール(1)	ドッジボール(2)	ドッジボール(3)
1位	1-5B	2-3/6A	3-2A	1-1B	2-6A・2-7	3-5A	1-1B	2-5A	3-1A
2位	1-4A	2-2C	3-2B	1-3A		3-3A	1-3	2-5B	3-1B
3位	1-4B	2-7A	3-4/5	1-4B	2-6B	3-5B	1-1A	2-1A	3-5A